

リリースノート

2020年05月18日

AtomOS 10.4

NINJA V



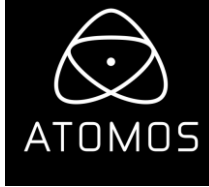
新機能

AtomX SYNC モジュールに対応しました

- AtomOS10.4 では、RF 通信や Bluetooth 接続で、タイムコードの同期が行える AtomX SYNC モジュールに対応しました。
- Timecode Systems SyncBac Pro 製品と互換性がある GoPro や AtomX SYNC モジュールを装着した Ninja V や、最大 100 台までワイヤレス接続し、リモートトリガーを行うことができます。
- いくつかの Timecode Systems 製品を RF 通信で最大 200m、タイムコード同期させることができます。圏外モード時は、内部の TCXO を基準に正確なタイムコードを継続し、マスターデバイスの圏内に戻りますとソフトが同期されます。
- 最大 6 台までの Bluetooth デバイスとペアリングを行い、対応アプリケーションとハードウェアを介して、Ultrasync Blue を使用し最大 15m まで Bluetooth レンジを広げることができます。
- Ninja V のジャムシンクは、UltraSync One やタイムコード/ゲンロック/ワードクロックが使用できる任意のデバイスを UltraSync One に接続し、Ninja V SYNC のネットワークに接続できます。
- 自動的にキャリブレーションを行い、Ninja V に取り込まれるアナログオーディオ入力を正確に補います。
- Ninja V にバッテリーのホットスワップ機能を追加し、継続的な電源供給が行えるようになりました。

17 : 9 DCI レターボックスディスプレイ

- HDMI から取り込まれた画像解像度が 4096x2160 の時には、上下が黒いレターボックスで 17 : 9 のアスペクト比で表示されます。



注釈：

- SYNC モジュールを装着した Ninja V とカメラの映像と音声を正確に同期させるために、マイク入力端子を使用し初期設定を行います。詳細については、SYNC モジュールのクイックスタートガイドとマニュアルをご覧ください。
 - AtomX SYNC モジュールは、AtomX SDI モジュールと同時に取り付けことができます。ただし、SDI モジュールのバッテリースロットに装着します。そうでない組み合わせでは取り付けできません。
-